



超音波検査とは？

超音波とは、人間の耳には聴こえない高い周波数の音のことです。

からだの中に超音波をあて、臓器・組織にあたって反射したものをコンピュータ処理して表示させ、異常がないかどうか、病変の質や程度はどうか、と調べていくのが超音波検査です。

体の表面から超音波をあてる検査では、ゼリーを塗り、プローブという器具をあてていくだけなので、痛みもなく人体に影響ありません。繰り返して検査することも可能です。

臨床検査部で行っている超音波検査は、心臓、腹部、乳房、血管（頸動脈、下肢動静脈、腎動脈、その他血管）などです。

